

日本消化管画像研究会 第5回会員実地研修会

「造影検査手技、被ばく線量測定、機器管理の実際」

近年、消化管検査を取り巻く環境が大きく変化していく中で、診療放射線技師として撮影技術の向上に積極的に関わり、診断価値の高い画像を医師側に提供する努力を積み重ねていくことが求められています。また、病院機能評価における機器の保守・点検項目や医療被ばく低減施設認定システムに関連する事項として、日常点検としての装置の精度管理と自分が行っている検査で受検者が受ける被ばく線量を把握するということの重要性がますます高まっています。

日本消化管画像研究会では、これまでのレクチャー形式の研修会から、昨年度実施して好評であった実践形式による実習を取り入れた実地研修会を、第22回放射線技師総合学術大会期間中に、開催いたします。

すでに消化管造影検査に携わっている方やこれから勉強しようとする方で、仲間としてともにスキルアップを目指し、情報交換を望む会員の参加をお待ちしています。また当日の入会も受付けていますので、多数の参加をお待ちしています。

日時：平成18年10月7日（土） 13:00～17:00

参加費：1,000円（非会員3,000円）

場所：南部町国民健康保険 西伯病院（地図参照）

鳥取県西伯郡南部町倭397番地 TEL 0859-66-2211

車・・・JR米子駅から国道180号線を新見、広島方面へ約10km

路線バス・・・JR米子駅前バス停から日ノ丸バス

（法勝寺・上長田・東長田・大木屋方面）に乗車し、
西伯病院前バス停まで（乗車時間約20分）

研修内容

被ばく線量測定法

チャートを使用した機器管理法

マーゲンファントムによる撮影実習

症例検討

申込み締切り：平成18年9月30日（土）

※参加申込み先

研究会事務局

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-31-12

社会保険新宿健診センター

医務部放射線科内 吉田 浩子

E-mail：jsgi@main.jart.jp

（メールの件名に「実地研修会」と入れて、氏名・所属施設名・連絡先をお願いします）

